

# 環境影響評価書

— 横河電機株式会社小峰工場建設事業 —

(本編・資料編)

平成5年1月

横河電機株式会社

## 1 総括

### 1.1 事業者の氏名及び住所

氏名：横河電機株式会社

代表者 代表取締役社長 山中 卓

住所：東京都武蔵野市中町二丁目9番32号

### 1.2 対象事業の名称

横河電機株式会社 小峰工場建設事業

〔対象事業の種類：工場の設置〕

### 1.3 対象事業の内容の概略

事業内容の概略は表1.3-1に示すとおりである。

表1.3-1 事業内容の概略

小 峰 工 場 の 建 設 の 概 要	所在地	東京都西多摩郡五日市町小峰台1番地	
	敷地面積	21,693 m <sup>2</sup>	
	工事着工年月	平成5年4月(予定)	
	稼働開始年月	平成6年4月(予定)	
	建 物 の 概 要	構造	鉄骨造一部鉄筋コンクリート造
		階数	地上1階一部地下1階
		高さ	11 m
		建築面積	4,173 m <sup>2</sup>
		延床面積	5,339 m <sup>2</sup> (うち付属棟 234 m <sup>2</sup> )
	使用目的	横河電機株式会社及び横河電機関連会社の製品に使用する板金部品の製造及び加工その他を行う。	

#### 1.4 環境に及ぼす影響の評価の結論

対象事業の計画内容及び計画地とその周辺地域の概況を考慮のうえ、予測・評価項目を選定し、現況調査を行い、表1.4-1に示す4項目について予測・評価を行った。

環境に及ぼす影響の評価の結論は、表1.4-1に示すとおりである。

表1.4-1 環境に及ぼす影響の評価の結論

予測・評価項目	評価の結論
1. 騒音	<p>(1) 工事の施行中 建設作業騒音の計画地敷地境界における騒音レベルは東京都公害防止条例（以下「条例」という）の勧告基準を下回っており、かつ、計画地周辺の住宅街においては、現況の環境騒音レベル程度におさまる。したがって、周辺環境に与える影響は少ない。</p> <p>(2) 工事の完了後 工場騒音の計画地敷地境界における騒音レベルは、最大でも操業時で54dB(A)、夜間で50dB(A)であり、条例の規制基準を下回っており、かつ、計画地周辺の住宅街においては、現況の環境騒音レベル程度におさまる。したがって、周辺環境に与える影響はほとんどない。</p>
2. 振動	<p>(1) 工事の施行中 建設作業振動の計画地敷地境界における振動レベルは条例の勧告基準以下であり、かつ、計画地に最も隣接している小峰ビルでは、一般に人間が振動を感じ始めるとされている55dB以下である。したがって、周辺環境に与える影響はほとんどない。</p> <p>(2) 工事の完了後 工場振動の計画地敷地境界における振動レベルは、条例の規制基準以下であり、かつ、一般的に人間が振動を感じ始めるとされている55dBとほぼ同程度である。したがって、周辺環境に与える影響はほとんどない。</p>
3. 水質汚濁	<p>工事の完了後における天王川の水質は、A類型の環境基準未満であり、計画建物からの排水は現況の天王川の水質をほとんど変化させることはない。したがって、天王川に及ぼす影響は少ない。</p>
4. 景観	<p>計画建物は、工業団地内の横河メック等の既存建物と一体的まとまりをもち、その一部として認識され、かつ、植栽によって視覚的にも緩和される。したがって、景観に及ぼす影響は少ない。</p>

## 1.5 評価書案の修正の概略

評価書案の修正の概略は、表1.5-1に示すとおりである。

表1.5-1 評価書案の修正の概略

修正箇所	修正事項	修正内容及び修正理由
5. 現況調査、 予測及び評価 5.1 騒音	5.1.2 予測 (4) 予測方法	吸音処理の詳細図を追加し、資料編との関連を記述した。
資料編 1. 対象事業の内容 1.3 排水処理施設	工場排水の処理フロー	排水処理フローを再検討し、一部修正した。
4. 現況調査、 予測及び評価 4.1 騒音	4.1.2 予測 (2) 工事の完了後	本編の図との関連を明確にするため、Naを追記した。